

日刊 (日、月曜休刊)

# 新文化

飯能・日高・入間の情報満載 郷土の良識

発行所：埼玉県飯能市柳町12番10号 (株)文化新聞社  
〒357-0035 電話(042)973-2525(代)

★購読・配達等のご連絡は当社または読売、朝日、毎日、サンケイ、東京新聞の各専売所へお申込み下さい。  
★購読料・1か月¥1,500

購読・広告(葬儀、一般)申し込み、新聞未着のお問い合わせ。

☎ 042-973-2525

FAX 042-974-3379(午前8時30分~午後6時)

- ★人間ドック
- ★生活習慣病予防検診
- ★特定健康診査・企業健診



飯能市 ☎042-978-2000

東吾野医療介護センター

埼玉医大眼科指定・各病院眼科指定

## メガネ・コンタクトレンズの 大木眼鏡院

本 店：飯能市本町 飯能高校前 ☎042-974-3331(代)  
 大木眼科医院：飯能市柳町 栄屋ビル2F ☎042-972-2200  
 東 銀 座 店：飯能市柳町 栄屋ビル1F ☎042-974-3333(代)  
 入 間 店：入間市豊岡 市役所横 ☎04-2965-2111(代)

### ジャカルタの 旅行フェア

# 「公務か。市長は知っていたか」 市政策顧問と2市議が参加

飯能市議会9月定例会の一般質問で、鳥居誠明議員(清風会)が緊急質問を行った。今年8月にジャカルタで行われた日本に特化した旅行フェア「ジャパン・トラベル・エキスポ2013」に飯能市の政策顧問(特別職の非常勤職員)と2人の市議が参加し、飯能の観光をPRしたが、緊急質問はこの参加が公的なものなのか、大久保市長もイベントへの参加を知っていたのか、市入札工事の指名参加業者も同行している—などの趣旨で市長に見解を求めたもの。緊急質問後、議会は事実関係を確認するための会派代表者会議を開いたが、その結果については非公開の会議を理由に一切明らかにしておらず、不明。イベント会場での政策顧問等の行動についての鳥居議員の緊急質問に対し、市長は「関与していない」との答弁を繰り返したが、砂長恒夫議員(ほんのう未来)は、「担当部長はこの件に関して承知していると我々に発言している」と指摘しており、今後、この問題を巡ってはひと波乱ありそうだ。鳥居議員と大久保市長の一问一答は次のとおり。2回に分けて掲載。

## 鳥居議員が緊急質問 ①



鳥居誠明議員

▽鳥居誠明議員(以下、鳥居議員)「私としては看過できない事件が起きたの

で、緊急に質問させて頂く。この件について、議会で取り上げる時は事件とよく使われるので、私も事件と使わせて頂く。この事件の概要について述べる。本年8月24、25日の両日、インドネシアジャカルタでの訪日旅行の需要を喚起するた

め、観光庁や日本政府観光局によりジャパン・トラベル・エキスポ2013が開催され、日本の自治体や旅行代理店など13団体が日本の観光を宣伝した。そこで、飯能市の位置図、市内やアニメなどの映像を通じ観光宣伝するプレゼンテーショ

ンが現地時間16時30分から市議会議員2名により行われた。それに対して、現地の報道機関である邦人向けの新聞「ジャカルタ新聞」はインターネット上で、2013年8月26日の見出しで「日本ファンに観光アピール 大相撲会場でトラベルフェア」と題し、次のように報じた。「サイクリングとアニメをまちおこしに観光促進をめざす埼玉県飯能市は、インドネシアでも自転車の利用者が増えていること、日本アニメに興味を持つ若者に着目。「年々、市の人口が減少傾向にある中、子育てと観光で人口を増やしていきたい」と、飯能市ティープロモーション政策顧問の岩崎和行さんは語る。同市を舞台にしたアニメ・ヤマノススメが日本の若者に注目され、舞台となった街を巡る聖地巡礼がアニメファンの間で流行している。岩崎さんは「インドネシアの日本アニメファンがアニメをきっかけに飯能に観光に来てほしい」と話した。

これが事件の背景である。飯能市の観光をアピールし、活性化を促そうというこの企画であるとか、行

全国の病院診療所の処方箋取扱店

“クスリ”のご用命 ご相談は当店へ

# おおの薬局

飯能市南町11-22 ☎ 972-4388

てはまったく分からない。  
 ▼鳥居議員「行くことは知っていたが、内容は知らないということ、どの程度知っていたのか。」  
 ▼市長「大相撲が興行する、そこで旅行会社の案内で滞在するということは知っていた。内容については知らない。」  
 ▼鳥居議員「このフェアが開催された会場でプースの設定、プレゼン通訳等があったようだ。市は事前でも事後でもこの手配についてご存じか。」

▼市長「全然、向こうに行つての行動、活動は私的で行つたもので私の方では知り得ない。」  
 ▼鳥居議員「このプレゼンが行われることにあつて、必要となつたプースの使用、通訳、プレゼンに使つた映像などの作成の経費とか市が関与しているのか。」  
 ▼市長「まったくくない。」

▼鳥居議員「まったくくない」ということは、市はまったく知らないということではないのか。」  
 ▼市長「行つたことは知っているが、その内容、どの程度の行動とかは私の方では知らない。私的なもので、そこまで関与することはないと思う。」

▼鳥居議員「行つたかどうかということではなく、プレゼンに使われた資料であるとか、そのプースの使用料について経費がかかっている。そのことについて市が関与しているかということである。」  
 ▼市長「私の知る限りでは関与していない。」  
 ▼鳥居議員「先ほどの新聞のコメントにもあつた

は知っていた。内容については知っていた。内容については知っていた。

が、市の岩崎シティープロモーション政策顧問が参加されていたようだが、これは事実か。」  
 ▼市長「行つたことだけは分かっている。ただ、行動とか日程はまったく知らない。」

▼鳥居議員「行つたことは承知していると答弁されたが、では行くことについては市長から「行け」と言ったのか、本人から「行く」と言ったのか。」  
 ▼市長「ある旅行会社等でインドネシアでイベント的なことがあるよということだけ、知っていた。行けとか行くとか、私的なお金なので言えない。」

▼鳥居議員「行くことに

ついでにはプライベートということは分かつたが、ただその行くことについて事の発端はどこか。どっちから話が出たものなのか。」  
 ▼市長「ある観光会社があるという企画があるということ、飯能市のことに関しては私的に行くならばそれは別に飯能を売ってもらふことは悪いことではない。議員の皆さんもどこかに行つた時も必ず飯能を売ってくると私は思っている。」

▼鳥居議員「今の答弁だと、岩崎顧問の方から行つて来るからという解釈で良いか。」  
 ▼市長「飯能市を売る、売らないじゃなくて、イン

ドネシアに興味があることは決して悪いことではないと思う。」  
 ▼鳥居議員「その行つた旅行先で岩崎顧問がイベントに参加するということは知っていたのか。もう一度確認する。」  
 ▼市長「具体的な工程とか私は知らない。」  
 ▼鳥居議員「プレゼンがあったとか、岩崎顧問がジャパン・トラベル・エキスポ2013に参加することも知らなかつたのか。」  
 ▼市長「普通考えてみて、個人的に自分の金を出して飛行機で行つて、向こうでどうしろ、ああしろ、俺に教えろとか、それは一般的ではない。」

この政府観光局が開催したジャパン・トラベル・エキスポ2013とは、どのような目的の事業で、どのような参加者だつたのか。」  
 ▼大久保勝市長(以下、市長)「私としては、その内容について存じていない。」  
 ▼鳥居議員「企画やプレゼンテーションが行われることを市長以下、執行部は事前に承知していたのか。」  
 ▼市長「(質問を)もう一度言つてほしい。」  
 ▼鳥居議員「飯能市のプレゼンテーションが行われたこと。市長以下は事前に承知していたのか。」  
 ▼市長「行くということ

は知っていた。内容については知っていた。